

自作教具の活用事例

【作品名】 何に見えるかな??	【学校名】 日立市立櫛形小学校
【活用できる領域・教科等】 自立活動	【制作者名】 秋山 節子
【制作の意図】 指先や力をコントロールするトレーニングを行う。 親指と人差し指を使って、洗濯ばさみを付けたり外したりする遊びを取り入れることで、楽しみながら進んで行えるようにする。	【使用の方法】 くまの絵を見せて、「何に見えるかな」と質問する。 子どもが「くま」と答えたら、「そうだね」と認めた後に、「ライオンさんに変身させよう」と声をかけ、洗濯ばさみを渡す。 くまの周りに洗濯ばさみを付けることができたなら称賛する。 余裕があれば、「くまにもどそう」と声かけをし、洗濯ばさみを外させる。
【制作上の工夫】 くまの絵を画用紙にくれよんで描き、ラミネートすることで何度も使えるようにする。	【見取り図】  
【写真】 	【使用効果と応用発展】 鉛筆を持つ力が強すぎたり弱すぎたりする児童のための、力をコントロール練習教具として活用した。 選択ばさみの色は、茶色や白などの他の色を準備すると、児童の思考が広がる。 また、2人組になって自分たちで順番を決め、1つずつ相談しながら洗濯ばさみを取り付けるように助言すると、相手の気持ちを想像したり順番を守ったりすることを目的とした SST としても活用することができる。
【材料・材質・部品等】 画用紙 クレヨン ラミネート 洗濯ばさみ 10個程度	